



大分県立竹田高等学校  
関東同窓会報  
第53号

発行者・会長 松良修二  
編集者・委員長 衛藤 淳  
発行所・関東同窓会事務局  
〒194-0013  
東京都町田市原町田4-17-20  
電話 042-725-5018

<http://www.geocities.jp/kantohtaketa/>

## 春の役員会報告



幹事長  
井手 得郎

全国に先駆けて桜の開花宣言がされた東京地方。今年も全国各地で満開の桜吹雪が楽しめそうです。ふるさと竹田市でも4月2日(日)に「岡城桜まつり」が行われています。竹田の城下を賑やかに練り歩く大名行列は春の風物詩です。また、今年はT A Oライブも観客の興味をひいていました。

本会の春の役員会が平成29年の3月18日(土)千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開催されました。審議議題を以下に報告します。



### 役員改選について

松良会長より提案、6年ぶりに会長交代の発議があり「誇り高き伝統と歴史ある関東同窓会」をさらに充実・発展させる方向で真剣に議論されました。新任役員体制については別掲の表のとおりです。4月の総会で決議されました。7月の総会での承認を経て正式に新体制発足となる見込みです。



新会長  
菅 博敏



会長  
松良 修二



平成29年春の役員会に集った役員各氏

### 会計収支について

平成28年度会計収支が報告され、また平成29年度予算について提案がなされ承認されました。

## 関東同窓会役員名簿(案)

役職名	氏名	卒業年度
会長	菅 博敏	昭和40年 異動
副会長(総務担当)	麻生 三郎	昭和35年
副会長(組織担当)	井手 得郎	昭和41年 異動
副会長(広報担当)	田部 修士	昭和42年
副会長(企画担当)	栗田 信子	昭和41年
幹事長	都 俊生	昭和44年 異動
副幹事長	上野 聖展	昭和50年 新任
事務局長	山部 光男	昭和53年 異動
企画委員長	後藤 修	昭和50年 新任
副委員長	保坂 斉子	昭和46年
総務委員長	羽田野耕一	昭和46年
副委員長	志賀 昭靖	平成10年 新任
組織委員長	高橋 敏政	昭和46年 新任
副委員長	清水 洋一	昭和52年
副委員長	濱口 鈴子	昭和26年 新任
副委員長	佐藤 孝一	昭和57年 新任
副委員長	川島 秀夫	昭和60年 新任
広報委員長	衛藤 淳	昭和52年
副委員長	川口 弘展	昭和45年
監事	菅 紀代巳	昭和34年 異動
監事	後藤 猛士	昭和41年
相談役	長吉 泉	昭和26年
相談役	佐藤 映之	昭和28年
相談役	用正 靖彦	昭和30年
相談役	松良 修二	昭和34年 異動
顧問	田部 健	昭和11年
顧問	里見 菊雄	昭和26年
顧問	西 誠	昭和31年
顧問	坂本 勇	昭和28年 異動
顧問	加藤 興史	昭和33年 異動



組織副委員長 川島 秀夫  
組織副委員長 佐藤 孝一  
組織副委員長 濱口 鈴子  
組織委員長 高橋 敏政  
総務副委員長 志賀 昭靖  
企画委員長 後藤 修  
事務局長 山部 光男  
副幹事長 上野 聖展  
幹事長 都 俊生

## 第31回総会・懇親会 準備状況

昨年は関東同窓会創立30周年記念の総会・懇親会で大きな節

目として歴史を刻むことができました。その翌年の総会・懇親会が今年になりますが、今年もスペシャルなゲストを招へいることに成功しました。

## 各委員会報告

### ●総務委員会

28年度決算見込みや29年度予算案、また、維持会員の状況や関連資料等の管理者分担の提案がありました。あわせて、29年度総務活動計画の発表や、新規事業として、30着の法被作製が提案されました。

### ●広報委員会

「臥牛」53号の編集内容や原稿の依頼収集状況の報告がありました。各界で活躍中の同窓生紹介など内容充実に向けた提案がありました。

### ●組織委員会

若い世代の情報収集と動員について苦戦しています。平成卒業組の名簿は58人を数えるにしか把握できていません。

### ●企画委員会

7月の総会・懇親会ではゲスト以外での諸案件について検討が加えられました。

## 母校創立120周年記念行事について

母校・竹田高校が本年、創立120周年記念を迎えます。それにとまない記念事業も話題になりました。



## 第31回関東同窓会・総会懇親会

2016年11月の竹楽に出演した際の古澤剛君（撮影：佐藤晃一・昭51卒）



### メインアトラクション

## 古澤剛 平 成 14年卒 熱唱ライブ

これまで出会えたすべての方に感謝を!!

プロスポーツ選手が登場するそのバックに歌が流れて、それが実にマッチしていると思いませんか。それほど彼の詩と曲には、頑張る人の背中を後押しする、そんな力が溢れているのだと思います。

そんな古澤君も、ここまで来るには決して順風満帆では無かったようです。ただ自分のことはさておき、歌を通して「出会うために行動して、出会った方から教えられる」という彼の信念と感性は一貫していたようです。そしてその「内なるもの」から生み出される作品は、一曲一曲に「応援」や「感謝」の気持ちが入り込められていて、聴く人の心を打つのでしょうか。

我々51年卒は、これまで下北沢と渋谷でのライブに足を運びました。40年前であればともかくも、この歳でこんな事でもなければ「ライブハウス」には入らなかつたでしょう。

そこは正直、狭く窮屈で、さらに渋谷ではこどもあろうに観客も全員2時間以上立ちっぱなし（オールスタンディングと言うそうでした。鈴木敬子さん、右田淳子さん、佐藤史紀君と自分です）と心配しつつ、女性にはボトル水を、男二

人は白波の水割りで水分補給しながら、でも、あつという間にライブは終わってしまいました。二度のライブ体験で感じたことは、古澤君のファンは、比較的静かな方が多く、羽目を外して盛り上がるというより、みんな彼の歌に聴き入っている、という印象です。

また、彼が下北沢のライブで、「自分の歌の原点は、中学時代に音楽準備室で、たった一人の人に聴いてもらって、感動してくれたことです」と話していました。昔も今も聴いてくれる方が大勢では無くても情熱を持って歌いかける姿勢は、冒頭のボブディランの言葉と通じるものがあるかも知れません。

では、同窓生の皆さん、我々と同じように竹田の新鮮な空気を吸い、青春時代を過ごした古澤君の熱唱ライブにご期待ください。



当番幹事  
飯田 良典  
(昭51年卒)

今年の関東同窓会には、前号の「臥牛」でご案内の通り、シンガーソングライターとして活躍中の古澤剛君をお招きしま

「5万人の前でプレイしたこともあります、50人前でプレイする方がもっと難しいのです」（ボブディラン、ノーベル賞授賞式のメッセージから）

す。昨年の夏の時点では既に、アルバム情報「バイトル」のCMソングに「仲間だろ」が採用された実績があり、それだけでもすごい事でしたが、その後メジャーデビューを果たし、そのデビュー曲「Color」は、今年「日本ハム」のCMソングに採用されました。

評論家ではないので表現が適切かどうか自信がありませんが「仲間だろ」も「Color」もTV画面には、五郎丸選手や大谷選手、山口選手という一流

### 第31回

## 竹田高校関東同窓会・総会懇親会

期 日	平成29年7月1日(土)
会 場	東京プリンスホテル
受付開始	10:45~
総会開始	11:30~
メインアトラクション	12:10~
	古澤剛(平成14年卒)熱唱ライブ
懇 親 会	13:00~15:00
会 費	8,000円

# クラブス会 同期会

## 竹高関東26会 銀座数寄屋橋に 集う!

牛島 健一(昭26年卒)

霜月に入り連休も終わり一息ついた佳日、慣例の竹高関東26会を中央区銀座6丁目の「銀座サン・ミ」で執り行いました。久方の銀座会場なので皆さん張り切ったの参加を待ち望みま



竹高関東26会

した。なにせ寄る年波、昨年より又一人又一人と増える傾向は期待はずれでした。でも昨年同様、20名が数寄屋橋から銀座へと集ってくれました。皺と杖は増えましたが、未だ未だ、そこは竹高健児!! 弱った足腰で力強く? 会場入りをして来ました。高松君の案内で開宴し物故者への冥福、哀悼を捧げ、簡単な経過報告の後、阿南会長より挨拶をいただき、集合写真の提供をお店側より受けて宴に入りました。3時間ばかり四方山話、子孫の話、学生時代そして老秋時代? をお互いの健康を頼りつつ散会しました。来年の26会も同じ顔ぶれで銀座での再会を約束し、たそがれ迫る銀座を後にしました。

## 竹田高校45会 開催

川口 弘展(昭45年卒)

還暦+5同窓会と銘打って(5年周期)11月26日開催されました。会場はレンブラントホ



竹田高校45回 還暦+5同窓会

テル大分(そう言えば竹田在住者は少なく博多から日帰りできる大分もありかな)。田部朋二君の司会により物故者への黙祷、校歌斉唱、板倉永紀会長挨拶、後藤真志同窓会長挨拶、深田佳寿子副会長の乾杯で開会しました。参加者は九州在住者中心として82名、特別なアトラクションはなく、卒業時の組毎にテーブルが用意されていた為、40数年の歳月に晒された身体に戸惑いながらも心と言葉は一瞬の内にタイムスリップ大盛会となった

前回の会話は、往時の浮名等生々しい話題が多かった様に思いましたが、今回は孫・病氣・親の介護並びに見送りと世間一般的に落ち着いてきたと感じました。最後に野尻敬生前会長の一本締めで5年後の再会を約し散会となりました。

今回復興割を利用して帰省しましたが、飛行機は満席で賑わいを感じました。被災された方々にお見舞い申し上げると共に多くの方が竹田を訪れる事を祈念しています。

## 竹田弁で 気分すっきり、 同級会

鈴木(桑島)敬子(昭51年卒)

加していただきました。51年卒は、会議出席者は5名、夕方から参加者4名に加え、大分から出張で来ていた前田君、伊勢参りのついでに駆けつけてくれた内川(赤星)さん、上海からまた戻っていた首藤君等が合流してくれて、久々の大人数になりました。51年卒はほぼ、今年還暦を迎えます。みんなこれまで、どこかこが病気を患っています。しかし、しぶとく社会復帰を成し遂げ、何事も無かったように酒を飲み、昔に戻ってはしゃいでいました。「すもつくれん」「やっしやきると」「じゃきなあ」「おれどお」と、方言が標準語のように飛び交っていました。役員の方々も、最後には気持ち51年卒になりきっていただき、みんなと打解け合って、大いに盛り上がった同級会となりました。

昭51年卒の同級会を、2月18日(土)、16時半から、山手線大塚駅前「魚や一丁」にて開催しました。この日は午後、7月の31回関東同窓会の会議(当番幹事会)だったので、松良会長、菅事務局長、栗田副幹事長にも同級会に参



(右奥から)緒方崇憲、内川(赤星)和美、大滝(高橋)ひとみ、松良修二、菅紀代巳、栗田信子、鈴木(桑島)敬子、田北秀彦、(左手前から)首藤和彦、後藤浩、佐藤史紀、前田俊一、飯田良典、三浦龍男、佐保幸寿

# 第66回竹田会 盛大に開催

佐保 哲郎（昭54年卒）

第66回竹田会懇親会が11月11日、東京ガーデンパレスにて百数名の出席のもと盛大に行われました。昨年に続き阿南貴恵アナウンサーの開会辞に続き物故者への黙とうをささげました。

まず竹田会会長の辻会長よりご挨拶がありました。「本日は、季節はずれの寒さ足元の悪い中ご出席いただきありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。この会もスタート以来60年以上たっています。スタート時点の諸先輩が引いてくれた路線に乗って、しっかりとした事務局が継続を支えてくれました。本日は、竹田、関西からも出席いただきありがとうございます。そして次期会長に40年竹田高校卒の古庄幸一様にな



辻亨会長（右）と古庄幸一新会長（左）

## 新会長 古庄 幸一 会長 誕生へ



最後にオペラ歌手・倉原佳子さんのリードで「荒城の月」を参加者全員で合唱

られる旨、報告があり新会長のご紹介がありました。

続いて、竹田市副市長の野田副市長のご挨拶とご報告がありました。毎日新聞と早稲田大学から竹田市長がマニフェスト大賞をいただきました。また、昨年は文化庁の長官表彰をいただきました。竹田の状況報告4月の地震の時、一時期は、1000人が避難所で二週間心配な夜を過ごしましたが幸いほとんど被害はなく普段の生活に戻りました。4月から荻神社の湯立神

楽、夏には八朔祭、都野ではなごし祭り、長湯では温泉祭りが

ありました。今年違うのは、全国山城サミットがあり全国山城のファンが集まり竹田高校を舞台にイベントを開催しました。開催の一週間前に竹田市内の山城で狼煙をあげ、最後に岡城から狼煙をあげました。滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールが70回目をむかえました。半年後には図書館が新しくなります。2年後には文化会館が新しくなります。変わらぬ竹

田が皆さんをお待ちしています。

続いて板井良助様より竹田から上京された方の紹介がありました。野田良輔様、平野孝光様、後藤輝美様、内川紀昭様、管謹一郎様、河野道友様、高橋英敏様、志賀郁夫様、平岩禎一郎様、池辺充晃様、姫野武俊様、重松英様です。また、姫野様、重松様より商工会議所青年部会が来年6月で50周年を迎えるとのご報告がありました。

本日のスペシャルゲスト、文筆家の白洲信哉様が登壇され、信哉様の曾祖父で白洲次郎さんのお父さん、白洲文平さんと荻町の関係についてお話がありました。



## 大分県庁「臥牛城会」 総会・懇親会 盛大に開催

2/14

大分県庁に勤務する竹田高校出身者の会「臥牛城会」が去る2月14日盛大に総会・懇親会を開催しました。当日は現役組や3名の県会議員に加え退職者も駆けつけてご覧のように盛大な催しとなりました。創立120年を迎える母校にとって心強いサポーターとなっています。

新会長、古庄幸一様から「我が国の安全、大分県の発展、竹田の発展を祈念して乾杯」とのご発声で懇親会が始まりました。本日、竹田市の特産品を使った料理「きな粉ごはん」とり天サフラン塩だれかけ」「焼米トッピングパスタ」が用意され好評のようでした。

オペラ歌手の倉原佳子様が紹介され、映画「慕情」のテーマ曲「愛は素晴らしい宝石」のイタリア語バージョン、そしてアベマリアを熱唱されました。最後に、オペラ歌手の倉原さんを含め参加者全員で「荒城の月」を合唱し、大盛況のうちに竹田大会は終了しました。

# 里見菊雄先輩(昭26年卒)が 渋沢栄一賞を受賞

田部 修士(昭42年卒)

平成29年2月14日、埼玉県深谷市にある渋沢栄一記念財団主催の「第15回 渋沢栄一賞 表彰式」が、さいたま市ソニックシティにて開催され里見先輩が受賞されました。

この賞は、企業経営の根底には道徳が必要であるとの信念のもと数多の企業経営に携わり近代日本経済の礎を築くとともに、生涯を通して病院や教育、福祉施設など様々な公益事業に尽力した渋沢栄一の精神を受継ぐ優れた経営者に贈られるもので、選考委員会の厳正な審査の結果3名が受賞されました。選考にあたって、経営的側面並びに、公益事業や地域貢献が審査され、里見先輩は、日本パーカライジングの名譽会長として、経営的側面では、「表面処理分野におけるリ



埼玉県・上田清司知事(左)から賞状授与



副賞の渋沢栄一翁のブロンズ像

ディングカンパニーとして、国内外のパーカーグループを率い長年安定した業績を残した経営実績」並びに、「世界各国へ事業を展開する積極的な経営姿勢」が評価され、公益事業や地域貢献では、「1956年に設立の(公)里見奨学会の理事長として、『故郷の若者の学業を支援したい』との創業者である父・故里見雄二氏の意思を受け継ぎ、経済的に恵まれない学生への奨学金給付の他、竹田市の学校への図書購入資金の助成、表面処理研究団体への学術助成金の支給を長年実施してきた功績」、「1975年に設立の(公)老人はげみの里見会の理事長として、大分県下の老人福祉施設への助成を続けていること」などが評価されました。里見先輩は、受賞に際し「今

後も渋沢栄一賞の名に恥じないよう表面処理技術の向上に努め、同時にまた微力ではありませんが社会貢献に精進いたす所存であります」とのコメントを寄せられています。なお副賞として授与された渋沢栄一翁のブロンズ像は、以前に臥牛でも紹介された日本橋の獅子と麒麟の像、等数多くの作品を世に残された彫刻家・故渡邊長男氏(竹田市出身)の作です。

**TBS番組**  
**「白熱ライブ ビビット」**  
**(1月18日放送)に**  
**同窓生登場**

川浪 健三(昭33年卒)

浦安から茨城県鹿嶋市に移住して7年になります。太平洋に面した風光明媚な地域です。私のように老後を過ごす地域としてこの鹿嶋は人気があるようで、毎年300人ぐらいが移住してくるということです。

この鹿嶋ではこうした高齢者同士のサークル活動も活発になり、親睦を深めながら生活を送っています。

そうした中で非営利団体「なごみの里」という団体が発足しました。日常生活を送っていくうえで買い物や病院に同行するとか、家の庭掃除や草取りなどを廉価でサービスを提供してい

**同窓生が出版**

# 銀座の流儀

「クラブ稲葉」  
ママの心得帖

白坂 亜紀(昭60年卒)



(時事通信社刊 1300円(税別))

数年前より各地で講演させていただく機会が増え、その際、ぜひ銀座へ行ってみたいけれどもどんな場所なのか、どのように振る舞えばよいのか、というような質問を受ける事が多くなりました。

この本では、夜の銀座でのマナーやクラブの仕組み、お客様をもてなすホステスのビジネス力や女子力、「粋」「見返りを求めない」といった銀座に引き継がれる日本人の美意識、一流の男性やエグゼクティブの流儀を具体的に事例を挙げてお伝えしています。

また、「スピントフ」というページでは、竹田で過ごした高校時代のこと、独立するまでのエピソードを挙げて、これまでの人生を振り返る良い機会にもなりました。バブル時代に学生ホステスとしてデビューしたものの、その後はバブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災といった景気の荒波、数々の苦難を経験しました。

3年前より、大分県竹田市東京事務所長の役目をいただきましたので、今後は、銀座で培った経験、人脈等々を生かして、故郷の魅力発信のためにも、力を尽くしたいと思えます。



TBS「白熱ライブ ビビット」(1/18放送)より

ふるさと名所紀行

老舗探訪 その5

川口自由堂

川口自由堂・4代目店主 川口晃生（竹田高校 昭和40年卒）

「川口自由堂の商い」

川口自由堂のルーツは三重県一志郡（現津市）川口村、寛永年間（1624～1644）に太治郎が岡藩中川久清公

に仕えたと記されています。その子富士太・創業者平内は中川公の命により天領日田に視察研修に行つて



昭和28年から同39年までの川口自由堂

は慶応2年平内元服の褒美として菓子の商いを許されました。当時菓子といても砂糖の無い（三温糖は大変貴重品でした）に等しい時代であったので落雁等の押菓子や焼菓子の類であったと記されています。明治3年名字が許された折は、「河口」を「川口」に訂正



昭和30年代、手前の神輿は城原神社・例大祭の際のもの

した文書があり、かなり迷ったようです。明治8年竹田町古町の現在地に店を開き、屋号を「伊勢屋」と称し「三笠野」の製造・販売を開始しました。明治10年西南の役の兵火により町の大半は灰塵と帰し当店も痛手を受けましたが、この事が後の我が国二番目の水力発電所「竹田水電」設立に繋がります。明治34年屋号を「川口自由堂」と変更し2代目盛太郎に継承します。盛太郎は9人兄弟の長男で、弟に前述の「竹田水電」滝廉太郎音楽祭の創立に尽力した造酒三がおり、後ろ盾とし支え、また戦前の労働活動家・浅原健三氏とも交流があり、後の岡城の開発・町の発展に寄与しました。昭和10年、銘菓「荒城の月」の製造販売を開始しました。今では仙台の「萩の月」が有名で

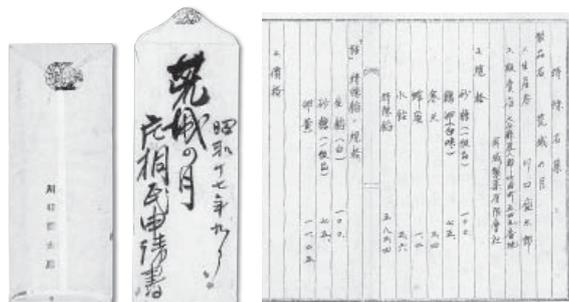
みやげ物人気投票終る

荒城の月首位へ 国産おこしは十傑一位

確定得票数

首位	一〇二、四二五	観音まんじゅう
二位	九六、三七一	三重餅
三位	八三、〇〇六	岡城其せんべい
四位	七七、四三五	温泉おこし
五位	四五、九八〇	名物の光輪餅
六位	四三、一六二	南はんばろう
七位	三八、八五七	豊後えび

昭和33年に大分合同新聞が催した「みやげ物人気投票」ダントツのトップとなった。（大分合同新聞より）



昭和17年に統制品となった砂糖の使用を申請した際の「申請書」（写真右）と封筒。（写真左）

▶平成元年には全国菓子大博覧会で最高位の三笠宮名譽総裁賞を受賞（受賞を報じる当時の朝日新聞より）

「甘さをおさえ、いまの人の口に合うよう工夫したのが認められたのしょう」と、語るのは銘菓「荒城の月」のしにせの一つ、竹田市駅前通り「自由堂」の4代目主人、川口晃生さん（43）。4月に松江市であった第21回全国菓子大博覧会で、最高位賞の三笠宮名譽総裁賞を受けた。

慶応2年の創業。「荒城の月」は、2代目主人の盛太郎さんが昭和10年に、岡城跡開発を機会に考案した、という。「月に相当するあんこが勝負どころ。卵と砂糖加減がコツ。ふるさと小包便にのって、北海道からも注文がくるようになった」と話す。



お菓子博で最高位賞

すが、近くにも「〇〇の月」がありましたが、「荒城の月」と命名した決断力と先見性に当代もリスペクトするものです。

昭和17年戦火が広がる中砂糖が統制品となりました。特殊名菓として認可され、終戦後の砂糖不足の時もチクロ等の代用品を使用せず誠実に「三笠野」「荒城の月」を造り続けました。昭和24年盛太郎死去後、3代目重信に継承します。

昭和27年「荒城の月」の登録商標を、翌28年「三笠野」を取得し竹田の銘菓として守り続けています。

昭和30年代に入ると地方都市の近代化推進事業が提唱され、古町溝口にアーケードができ各店舗かなり改装しました。当店もウインドーに熱帯魚を飼って陳列、店舗内に喫茶店を設け又店内で美術の個展を開催しと商店街の発展に協力しました。

この時期トキハ百貨店での販売を開始しました。輸送手段がなく大分大学の学生さんに始発汽車にて納品をお願いしました。昭和62年当代が継承し現在の店舗に改装し今に至っています。今後も創業以来の進取の精神で改善改革を重ね「この美味しさを皆さんを幸せに」商いを誠実に続けていこうと思



## 同窓生紹介



# 日本を代表する企業の 中国事業の責任者として重責を担う

昭和51年卒・首藤 和彦さん

東レ株式会社 常務取締役 在中国東レ代表  
東麗(中国)投資有限公司 董事長兼總經理

私の生まれ故郷は、市内東古町です。

竹田小・中学、竹田高校と地元で学び、その後、慶應義塾大学を経て、1980年に東レ株式会社に入社しました。

東レは祖業でもある繊維会社として一部上場銘柄に位置づけられていますが、今や繊維のみならず、フィルム、樹脂・プラスチック、電子材料、炭素繊維、医薬・医療、水処理など多岐にわたる素材産業に身を置く企業です。

小学から始め社会人になっても続けた剣道は、30代の最初の海外勤務以降、遠のき残念ながら今は遠い昔話となりましたが、振り返ってみると学生時代は人生そのものであった感があります。大学時代の仲間とは今でも定期的に旧交を温めています。高校時代の仲間とも大変ご無沙汰しながらも、数年前には数十年ぶりに集まり、大変懐かしく時を過ごしました。いつになっても同じ釜の飯を食い苦楽を共にした仲間は忘れられませんし、人生においても貴重な存在です。

会社生活は37年目となりましたが、海外勤務は30才代で初めて経験してから今回で4回目、累計17年目を迎えています。タイ6年(1989年~1995年)、マレーシア6年半(1998年~2005年)、中国2年半(2005年~2008年)に続き、今回の中国・上海勤務で4回目です。

久しぶりに中国に戻りましたが、この10年間で大きく様変わりした感があります。特に上海は、街並みはきれいになり、地下鉄網も発達、街を歩く女性の服装もよりファッションナブルになりました。鉄道や高速道路などのインフラの発達にも目を見張るものがあります。経済成長も消費が大きく支えながら毎年6%後半を維持しています。これから2019年近傍まで、およそ30兆元のGDP(国内総生産)

が増える見込みですが、これは日本一国分に相当します。今や中国は単なる大国から経済強国へと姿を変え、今後、個人所得も先進国水準に追いついてくることでしょう。

中国には東レグループ会社で44社、グループ会社の合弁会社なども含めると60社あり、東レの持つ大半の事業を中国でも展開している、いわば“ミニ東レ”で、中国事業の売上高は東レ全体の15%を占めています。

中国の事業におけるキーワードは、中国が直面している課題でもある水、空気、環境と健康で、それに応える事業展開を行っていくことを基本としています。工業廃水や家庭の浄水などの水処理用素材、大気汚染に対する空気清浄素材、人工腎臓に代表される医療機器など東レの得意素材で中国に貢献しています。環境という切り口では、世界一の生産台数を持つ自動車もテーマです。中でも電気自動車に力を入れており、今や生産台数は世界一、電子素材、炭素繊維などの機能・軽量素材も重要な役割を担っています。

また中国に根付いた事業を行っていくためには人材も重要です。その国のビジネスは、その国の人間が担ってこそ成長を可能にします。現地化を進め幹部への登用も積極的に取り組んでいるところです。

2度目の中国も始まったばかりですが、今は上海生活にも慣れ、特に不自由さは感じません。上海は大都会ですが、広大で歴史を持った中国には訪れてみたい場所は数え切れないほどです。今回の赴任中には仕事のみではなく、是非とも中国の歴史探訪もしてみたいと思っています。

隣人中国に興味のある方には、是非機会をみつけ中国の歴史探訪を経験してみたいと思いませんか。

題

今年もまた桜の季節に巡り合うことができました。が、八の坂をこえると急速に視界がせばまり、自身の立ち位置を否応なく考えさせられる。身近な友人や

著名人の訃報に接するたびに、死を意識の内側に置くようになり。そんな折、趣味で中国語の翻訳をやっている夫の詩にいたく共感したので、皆さまにも読んでいただきたい。

徳田 昌子（昭30年卒）

老いを迎えるに

老いを迎えるに 古い老いを目指すべし  
思い及ぶ最高の老いを  
爪が熟し 花火が空に上がるように  
ゆるりと放たれ 有終の美を飾る  
最期の香と愛をこめ  
最後の力をふりしぼり



老いを迎えるに 平静の中にあるべし  
江河が海に流れ 老木が屹立するように  
来し方を心静かに振り返り  
一切は終わりを全うする  
悔いを残さず 両手を掲げ  
左手に豊かな経験を 右手には長けた教訓を

老いを迎えるに 名優がアンコールに応えるように  
穏やかな自信に溢れ  
眉元に 経験と鍛錬による落ち着きを宿し  
幕が降りれば楽の音は彼方 一切は雲の中  
尊厳の輝きだけが帷の向こうできらめく

老いを迎えるは かの幼きころに立ち帰る  
かくしゃくとは見えなくても  
心は素直でわらべのように  
我 老いたりとも世界は若く瑞々しい  
全てはめぐり巡りて赤児の泣声が聞こえる  
笑いあり涙あり  
音声とともに次の舞台が進行する

「变老的时候」季琦（1956年、黒竜江省ハルビン生まれ。中国著名女性詩人）  
（2017年1月 徳田好美 訳）

ご案内

豊後大野市人会

日時▼平成29年6月10日（土）  
13時～

会場▼ホテルグランドパレス  
（地下鉄東西線、半蔵門線）  
九段下駅から徒歩2分

会費▼男性／8,000円  
女性／7,000円

問い合わせ先▼

井手得郎（昭41年卒）

☎090-7015-1634

竹田高校関西同窓会  
総会懇親会

日時▼平成29年9月23日（土・祝）  
11時30分～15時

会場▼大阪第一ホテル 6階  
モナーク

（大阪駅中央南口から徒歩3分）

会費▼8,000円

連絡先▼

栄研材工業株式会社  
本田健二

☎06-6725-5236  
〔関西同窓会会長〕（昭41年卒）

竹田会

日時▼平成29年11月2日（木）  
18時30分～

会場▼東京ガーデンパレス  
JR中央線御茶ノ水駅から徒歩5分

会費▼8,000円

訃報

慎んでお知らせ申し上げます。心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

平川 克巳 様（昭9年卒）  
平成28年9月3日没

清水美代子 様（昭12年卒）  
没年月日不明

河野 祐司 様（昭16年卒）  
平成28年9月25日没

池内 勇吉 様（昭23年卒）  
平成29年3月14日没

盛 隼士 様（昭27年卒）  
平成27年5月20日没

日小田尚子 様（昭28年卒）  
平成29年1月27日没

甲斐 正治 様（昭31年卒）  
平成29年1月17日没

安藤 孝明 様（昭32年卒）  
没年月日不明

楠原 浩司 様（昭35年卒）  
平成28年8月28日没

田北 秀彦 様（昭51年卒）  
平成29年4月7日没

※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきます。

編集後記

役員改選の時期を迎え、本誌既報のように新しい人事案が提案されました。これまでは私などが最年少（昭52年卒）で気楽な末席に安住してきましたが、一気に平成卒業組が登場してきました。（志賀昭靖さん・平成10年卒・副総務委員長）わが竹田高校出身者の層の厚さを物語る素晴らしい人事と思います。

がしかし、手放して喜んでばかりはいられない現実もあります。年に一度の総会・懇親会の運営に当たる当番幹事制の運営が厳しい状況になりつつあります。とって深くても仕方ないので、足りないところは皆で力を合わせてやっていければいいと思います。

というわけで、7月1日（土）総会・懇親会の準備を朝9時から始めます。われこそはと思っ方はぜひ馳せ参じてください。皆でワイワイとにぎやかにお祭りを盛り上げましょう！！



連絡先

〒181-0003  
東京都三鷹市北野2-13-22  
（広報委員長）衛藤 淳 宛  
TEL・090-9159-7231  
FAX・0422-43-7762

mail to : etoj@hotmail.com